

情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU 部会

地上業務委員会（第 51 回） 議事概要（案）

1 日 時 : 平成 30 年 10 月 24 日（水）14:00～16:00

2 場 所 : 総務省 8 階 第 4 特別会議室

3 出 席 者（敬称略、順不同）:

[構成員]

三瓶 政一（主査：大阪大学）、足立 朋子（東芝）、飯塚 留美（マルチメディア振興センター）、市川 武男（日本電信電話）、川口 さち子（パナソニック）、小泉 善子（富士通）、阪田 史郎（千葉大学）、橋本 明（NTT ドコモ）、松永 彰（KDDI）

[関係者]

稲垣 恵三（小川構成員代理：NICT）岩谷 純一（NTT）、植田 由美（MRI）、大槻 信也（NTT）、小山 敏（ARIB）、川本 真紀夫（三菱電機）、柴垣 信彦（日立国際電気）、宮寺 好男（日本無線）

[事務局]

有村 祐輝（総務省移動通信課新世代移動通信システム推進室）、杉本 貴之（総務省基幹・衛星移動通信課）服部 裕史（同左）、山本 隆大（同左）、野村 惇哉（総務省基幹・衛星移動通信課基幹通信室）、東 良樹（同左）

4 配 付 資 料

- 資料地-51-1 地上業務委員会（第 50 回）議事要旨（案）
- 資料地-51-2 ITU-R SG5 関連会合報告書（案）
- 資料地-51-3 ITU-R SG5 関連会合への日本寄与文書（案）
- 資料地-51-4 ITU-R SG5 関連会合への対処方針（案）

参考資料 1 ITU-R SG5 関連会合の開催案内

参考資料 2 ITU-R SG5 関連会合の日本代表団一覧

参考資料 3 地上業務委員会構成員名簿

5 議 事 概 要

(1) 地上業務委員会（第 50 回）議事要旨について

【資料地-51-1】

地上業務委員会（第 50 回）の議事要旨について、事務局から説明があった。意見

等がある場合は、11月2日（金）までに事務局に連絡することとされた。

(2) ITU-R SG5 関連会合の報告について

【資料地-51-2】

事務局から、ITU-R SG5 WP5A/B/C 第20回会合について報告があった。

(3) ITU-R SG5 関連会合への日本寄与文書案について

【資料地-51-3-5AJ1】

NICT 岩谷氏から、「新報告草案 ITU-R M.[RLAN SHARING 5 150-5 250MHZ]に向けた作業文書の修正の提案」について説明がなされた後、特段の質疑なく承認された。

【資料地-51-3-5AJ2】

NICT 岩谷氏から、「新報告草案 ITU-R M.[RLAN REQ-PAR]に向けた作業文書の修正の提案」について説明がなされた後、特段の質疑なく承認された。

【資料地-51-3-5AJ3】

ARIB 小山氏から、「新報告草案 ITU-R M.[ITS FRQ]「移動業務における ITS のための周波数帯の調和」に関する修正提案」について説明がなされ、以下の質疑応答があった後、承認された。

橋本) 小山氏が SWG 5A-5-1 (ITS) の議長として、現地で次の内容を議論したほうが良い。寄与文書の最初のページに、この勧告は Question205 と WRC 議題 1.12 に関連していると記載されているが、議論を円滑に進めるためには、WRC 議題に絡めず、「Question205 を基に勧告を策定した」とした方が良い。そのためには、勧告のタイトルの後にも、Question205 を追記する。

Recommends の項目 2 に「Regional harmonized ITS frequency bands」と書かれている。Regional の R が大文字だと RR 上の Region 1,2,3 のいずれか全てでの harmonized の意味になるため、Regional を削除するか R を小文字にする必要がある。

Annex の表の ADVANCED は必要なのか。

小山) 現地で、Regional の削除又は小文字にするよう提案する。また、ADVANCED は必要ないと考えるため、削除する提案を行う。

【資料地-51-3-5AJ4】

ARIB 小山氏から、「新報告草案 ITU-R M.[ITS ARR]の作業文書「移動業務における ITS の展開のための周波数配列」に関する修正提案」について説明がなされた後、特段の質疑なく承認された。

【資料地-51-3-5AJ5】

ARIB 小山氏から、「ITU-R 勧告 M.1890 「高度 ITS のための無線通信技術の目的と要件」改訂草案の修正提案」について説明がなされ、以下の質疑応答があった。以下の修正がなされた後、提出することが承認された。

橋本) Annex の表 1 のみの修正であるならば、Annex の前に「今回は表 1 のみの修正である」と記載したほうが良い。

小山) 修正する。

【資料地-51-3-5AJ6】

ARIB 小山氏から、「新報告草案 ITU-R M. [ITS USAGE] 「ITU 加盟国における ITS 情報通信システムの利用状況」に関する[作業文書の]修正提案」について説明がなされた後、特段の質疑なく承認された。

【資料地-51-3-5AJ7】

ARIB 小山氏から、「陸上移動通信ハンドブック 第 4 巻 高度道路交通システム（改訂版）の作業文書への修正提案」について説明がなされた後、特段の質疑なく承認された。

【資料地-51-3-5AJ8】

三菱電機 川本氏から、「ITU-R 新勧告草案 M.[RSTT_FRQ]に向けた作業文書の修正案」について説明がなされ、以下の質疑応答があった。以下の修正がなされた後、提出することが承認された。

橋本) recommends の項目 2 と項目 3 の内容が重複している。

川本) 修正する。

【資料地-51-3-5AJ9】

日立国際 柴垣氏から、「ITU-R 新レポート草案 M.[RSTT.USAGE]に向けた作業文書の 100GHz 帯 RSTT の改定案」について説明がなされ、以下の質疑応答があった。以下の修正がなされた後、提出することが承認された。

足立) 寄与文書 p.2 の一つ目の Japan's note において、section 6 も修正しているため、「section 6」を追記した方がよい。

柴垣) 修正する。

【資料地-51-3-5AJ10】

日立国際 柴垣氏から、「ITU-R 新レポート草案 M.[100-GHz.RSTT.COEXIST]に向けた作業文書の改定案」について説明がなされた後、特段の質疑なく承認された。

【資料地-51-3-5AJ11】

NICT 稲垣氏から、「レポート M.2417-0 の改定草案の提案」について説明がなされ、以下の質疑応答があった後、承認された。

橋本) カバーシートに「このレポートは WRC 議題 1.15 に関連しているため、WRC-19 の前に修正が完了することが望ましい」と記載されているが、今会合の Chairman's report にその旨書いてもらうように、現地で対応したほうが良い。
三瓶) 現地では、5GHz の損失結果が根拠になることを、簡潔に筋道立てて説明するよう注意してほしい。

【資料地-51-3-5BJ1】

日本無線 宮寺氏から、「ITU-R 新勧告草案 M.[AMRD]に向けた作業文書の修正提案 自律型海上無線機器の定義、技術及び運用特性」について説明がなされ、以下の質疑応答があった後、承認された。

橋本) recommends 1 と 2 において、「in accordance to」の"to"は"with"ではないか。
宮寺) 現地で参加国と相談し必要であれば対応する。

【資料地-51-3-5BJ2】

日本無線 宮寺氏から、「ITU-R 勧告 M.1174-3 の修正提案 450-470 MHz 帯の船上通信に使用する設備の技術特性」について説明がなされた後、特段の質疑なく承認された。

【資料地-51-3-5BJ3】

日本無線 宮寺氏から、「ITU-R 改定勧告草案 M.2010-0 への修正提案 航行データと称する、500 kHz 帯における海岸から船舶への海上安全及び保安に関連した情報を放送するためのデジタルシステムの特性」について説明がなされた。以下の指摘がなされた後、提出することが承認された。

橋本) Annex3 及び 4 以外に修正がないのであれば、Annex の前にその旨記載しておいた方が良い。
宮寺) 修正する。

【資料地-51-3-5BJ4】

MRI 植田氏から、「改定勧告草案 ITU-R M.1849 の格上げの提案 地上用気象レーダーの技術・運用面について」について説明がなされた後、特段の質疑なく承認された。

【資料地-51-3-5BJ5】

日立国際 柴垣氏から、「新研究課題草案 XXX/5 の改定提案 92-100GHz の周波数範

围で運用する FOD システムの技術運用特性とスペクトラム要件」について説明がなされた後、特段の質疑なく承認された。

【資料地-51-3-5BJ6】

日立国際 柴垣氏から、「新レポート草案 M.[FOD 92-100GHZ]に向けた作業文書の改定提案 92-100GHz の周波数範囲で運用する FOD システムの技術運用特性」について説明がなされ、以下の質疑応答があった。以下の修正がなされた後、提出することが承認された。

三瓶) タイトルは propose ではなく、proposed ではないか。

柴垣) 修正する。

【資料地-51-3-5BJ7】

日立国際 柴垣氏から、「新レポート草案 M.[FOD_SHARE]に向けた作業文書の改定提案 92-100GHz の周波数範囲で運用する FOD システムと他のシステム間の共用両立性研究」について説明がなされた後、特段の質疑なく承認された。

【資料地-51-3-5CJ1】

NICT 稲垣氏から、「レポート F.2416 の改定草案の提案」について説明がなされ、以下の質疑応答があった。以下の修正がなされた後、提出することが承認された。

橋本) Annex4 (p.17) 第 1 パラグラフ 1 行目の「preliminary draft revision of」をかぎ括弧でくくる方が良い。今会合で preliminary が完了し、SG5 に上程することを想定しているため。

稲垣) 修正する。

【資料地-51-3-5CJ2】

NICT 稲垣氏から、「勧告 F.699 と F.1245 の将来の改定に関する検討のためのエレメントの提案」について説明がなされた。特段の質疑はなく、エディトリアルな修正をした後、提出することが承認された。

稲垣) エディトリアルなミスが多々あるため、修正する。

【資料地-51-3-5CJ3】

NICT 稲垣氏から、「WP1A への返答リエゾン文書の提案」について説明がなされた。特段の質疑はなく、以下の修正をした後、提出することが承認された。

稲垣) 勧告番号が間違っている箇所があるため、修正する。

【資料地-51-3-5CJ4】

NTT 大槻氏から、「WP5C に割り当てられた研究課題の見直し」について説明がなされた後、特段の質疑なく承認された。

(4) ITU-R SG5 関連会合への対処方針案について

【資料地-51-4】

事務局から、ITU-R SG5 WP5A/B/C 第 21 回会合への対処方針（案）について説明が行われ、承認された。

(5) その他

事務局より参考資料の説明があった。

本日の審議を経て、修正の必要がある寄与文書については、10月26日（金）中までに各担当課室に提出することとなった。

以上